

キビタン©福島県

# ふくしま教育ニュース

2022年11月 第59号 編集・発行 福島県教育委員会



## ふくしま外国語教育創生事業



令和3年度から英語を使って積極的に伝え合うことができる児童生徒の育成を目指し、英語担当教員の研修や小学校・中学校の連携を中心として、英語教育の改善に取り組んでいます。

### ① 英語担当教員ネクストステージ事業

英語担当教員がコミュニケーション活動を通して、児童生徒の英語力を伸ばす指導力を向上させるため、動画視聴研修、授業参観、英語外部試験の受検などを組み合わせた研修に取り組んでいます。

動画視聴研修では、福島県の現状や、小学校の英語専科教員の授業動画を視聴します。また授業参観では、小学校と中学校の英語教育をスムーズにつなげることができるように研修します。さらに英語外部試験の受検により、英語担当教員の指導力向上を図ることで、児童生徒の英語力の向上につなげていきます。

### ② 小中英語パートナーシップ事業(小中拠点校・協力校合わせて23校)

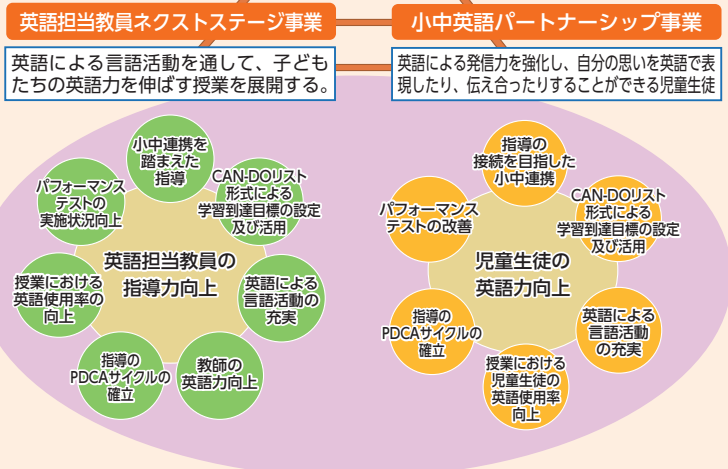
児童生徒の「話す」「書く」力を伸ばすため、小学校と中学校が連携して英語教育を推進するモデル学区を設けています。「豊かな言語活動を通した、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」を共通テーマとして、児童生徒の英語力の向上を図っています。

基本的に小学校では、デジタルのスピーキング教材を活用し、自分の考えや気持ちを英語で話す活動を推進し、中学校では、英語外部試験を活用して英語力の向上に取り組んでいます。また小中学校を通して「英語で何ができるようになったか」が把握できる「CAN-DOリスト」を活用し、自分の思いを英語で伝え合うことができる児童生徒を育成しています。

### 小中英語パートナーシップ事業拠点校及び協力校

教育事務所	拠点校Ⅰ	拠点校Ⅱ	協力校	
県北	本宮市立本宮第一中学校	本宮市立本宮まゆみ小学校	本宮市立本宮小学校	
県中	天栄村立天栄中学校	天栄村立広戸小学校	天栄村立大里小学校	天栄村立牧本小学校
県南	西郷村立西郷第一中学校	西郷村立米小学校	西郷村立熊倉小学校	西郷村立羽太小学校
会津	会津若松市立第五中学校	会津若松市立城南小学校	会津若松市立門田小学校	
南会津	南会津町立舘岩中学校	南会津町立舘岩小学校		
相双	南相馬市立鹿島中学校	南相馬市立鹿島小学校	南相馬市立八沢小学校	南相馬市立上真野小学校
いわき	いわき市立中央台南中学校	いわき市立中央台東小学校	いわき市立中央台南小学校	
	7校	7校	9校	

### ふくしま外国語教育創生事業



## 「県庁にみんなの声を届けよう！」プロジェクトを開催しました

8月10日(水)、福島県庁において「県庁にみんなの声を届けよう！」プロジェクトを開催しました。県内の小学5・6年生9名が、議場、危機管理センター、教育庁を見学し、仕事の内容などについて説明を聞きました。その後、3つのグループに分かれ、「ふくしまのよりよい未来をつくるために」というテーマの下、福島県の好きなおとこ、10年後どのような福島県になってほしいか、さらに理想の福島県になるために自分にできることは何かについて意見交換をし、参加者全員がグループごとにまとめた提言を内堀知事、大沼教育長や教育委員の前で発表しました。内堀知事からは、「どの班も素晴らしい発表をしてくれました。皆さんから具体的な提案もいただきました。これからの福島県政にいかしたいと思います」と講評がありました。みんな堂々とした発表で、様々な提言が県庁に届けられました。



【危機管理センターの見学】



【グループワーク】



【意見発表】

# 算数・数学ジュニアオリンピック

10月23日(日)、小学校5・6年生、中学校1～3年生を対象に県内7会場で福島県算数・数学ジュニアオリンピックを開催しました。本県の復興と子どもたちの夢の実現に向け、算数・数学に対するさらなる学習意欲と課題解決能力の向上を図るとともに、次世代を担う人材の育成を目指して実施しています。

今年度は、3年ぶりの会場での開催となり、約500名が論理的に考えたり、発想力を生かしたりしながら、問題に挑戦しました。参加者からは「解いたときの達成感があった。」「難問だと思ったが、今までの学習を生かして解けた。」などの声が多数聞かれました。今年度実施した問題も含め、これまでの問題は県教育委員会のホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

なお、成績上位者を先端技術体験に招待します。福島イノベーション・コースト構想関連の先端技術を有する県内企業等での体験活動を通して、科学技術に対する意識の向上を図っていきます。



## 科学の甲子園ジュニア福島県大会

科学の甲子園ジュニア福島県大会は、中学1・2年生が3人1組のチームとなり、理科・数学等の複数分野からなる筆記競技に協働して取り組むものです。科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、県内の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気づき、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的としています。

8月18日(木)、福島大学、会津学鳳中学校、ふたば未来学園中学校の県内3会場において開催した福島県大会は、県内の中学校9校から34チーム(102名)が参加し、競い合いました。上位2チーム(川俣町立川俣中学校チーム、福島大学附属中学校チーム)は、福島県代表合同チームとして、12月2日～4日に兵庫県姫路市で開催される全国大会に出場する予定です。次年度も、たくさんの中学生の参加をお待ちしています。



## 第10回特別支援学校作業技能大会 ～夢に向かってテクノチャレンジ2022～

8月5日(金)、10回目の開催となる特別支援学校作業技能大会が行われ、県内の高等部がある全ての特別支援学校19校が参加しました。今年3月の地震の影響により、ビッグパレットふくしまと郡山支援学校の2会場に分かれ、また、新型コロナウイルス感染拡大防止のために入場者を制限しての実施となりました。大会では、ICT機器を活用し、2つの会場をリモートで結び、共同で開会宣言を行ったり、2会場と各学校をつないで参観できるようにしたりしました。

検定部門(ビルクリーニング、喫茶接客サービス、パソコンデータ入力、店舗販売)、あん摩施術評価部門の5つの種目には123名の高等部生徒が参加し、作業製品品評部門には各校の特色ある56点の作品が展覧されました。参加生徒は外部専門家審査員からの客観的な評価を受けたり、家族や企業関係者等の前で、日頃の学習の成果を十分に発揮したりすることができました。この大会での経験は、生徒たちが自分の良さに気づききっかけとなり、自信をもって日々の学習に取り組む姿勢や、働くことへの意欲につながっています。



リモートによる開会宣言



喫茶接客サービス



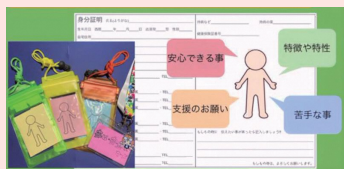
ビルクリーニング

# 令和4年度 ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト

令和4年9月10日(土)、「令和4年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト」本選をオンライン開催しました。予選を突破した12グループが、語り部活動・ボランティア・復興・まちおこし・製品開発など、自分たちが行っている社会貢献活動について発表しました。受賞チームは右のとおりです。

最優秀賞は、ふたば未来学園高校の「みらい防災」でした。東日本大震災を踏まえ、難病や障がいのある人がどうすれば円滑に避難できるかを考え、自身の特徴などについて記した「マニュアルカード」を作り、日ごろから防災意識を高めておくことの重要性についての発表でした。

今後も、高校生の地域課題解決に向けた学習体験を支援し、発表・顕彰の場を提供することで、日本を元気にするふくしまの高校生を応援してまいります。



みらい防災「マニュアルカード」



参加者記念撮影

## 最優秀賞(福島県教育委員会より)

ふたば未来学園高校 みらい防災

## 優秀賞(福島県教育委員会より)

田村高校 滝桜ボランティア隊  
聴覚支援学校高等部 情報工業科  
ふたば未来学園高校 社会起業部カフェチーム

## 入選(福島県教育委員会より)

会津若松ガゼリオ学園高校 インターアクトクラブ  
いわき湯本高校 総探特別チーム(家庭クラブ)  
岩瀬農業高校 生物生産科 養鶏専攻班  
喜多方高校 生活部菊芋班  
郡山女子大学附属高校 研究部(特別進学クラス)  
白河高校 まちカメラマン  
平工業高校 生徒会  
船引高校 TEAM☆FUNEHIKI

## 福島大学アドミッションセンター長賞(福島大学アドミッションセンターより)

いわき湯本高校 総探特別チーム(家庭クラブ)  
喜多方高校 生活部菊芋班  
平工業高校 生徒会

## 社会貢献賞(福島大学アドミッションセンターより)

本選出場の全12グループ

# 高校生ものづくりコンテスト2022東北大会

令和4年7月から8月にかけて、「高校生ものづくりコンテスト2022 東北大会」が東北各県を会場にして開催され、各県から推薦された工業高校生が、合計7部門において工業技術・技能を競い合いました。

本県勢は、日頃の学習の成果を十分に発揮し、福島工業高校(旋盤作業部門)、郡山北工業高校(化学分析部門)、平工業高校(測量部門)がそれぞれの部門で優勝し、東北ブロック代表として全国大会への出場権を獲得しました。また、公開競技となる溶接部門では、県大会で優勝した福島工業高校が東北ブロック代表として全国大会への出場権を獲得しました。

各高校の全国大会での活躍を願うとともに、ものづくりをととして地域を担う人材を育成する工業高校の今後ますますの発展を期待しています。

## 高校生ものづくりコンテスト2022東北大会 成績一覧

競技種目・開催日・開催場所	順位	学校名
旋盤作業部門 7/27～7/29 ポリテクセンター福島	1	福島工業高校(福島県)
	2	郡山北工業高校(福島県)
	3	十和田工業高校(青森県)
自動車整備部門 8/2～8/3 山形職業能力開発専門学校	1	山形明正高校(山形県)
	2	村田高校(宮城県)
	3	弘前東高校(青森県)
電気工事部門 7/28～7/29 青森工業高校	1	秋田工業高校(秋田県)
	2	平工業高校(福島県)
	3	十和田工業高校(青森県)
電子回路組立部門 8/5～8/6 男鹿工業高校	1	横手清陵学院高校(秋田県)
	2	郡山北工業高校(福島県)
	3	山形工業高校(山形県)
化学分析部門 7/28～7/29 郡山北工業高校	1	郡山北工業高校(福島県)
	1	郡山北工業高校(福島県)
	3	秋田工業高校(秋田県)
木材加工部門 8/4～8/5 東北工業大学	1	仙台工業高校(宮城県)
	2	十和田工業高校(青森県)
	3	古川工業高校(宮城県)
測量部門 8/19～8/20 酒田光陵高校	1	平工業高校(福島県)
	2	黒川高校(宮城県)
	3	一関工業高校(岩手県)



### 福島工業高校(旋盤作業部門)

優勝できたことを大変光栄に思います。優勝目指して全国に挑みます。



### 郡山北工業高校(化学分析部門)

緊張しましたが、全力を出すことができました。全国大会でもベストを尽くします。



### 平工業高校(測量部門)

全国大会では、練習の成果を十分に発揮し、優勝目指して頑張ります。



### 福島工業高校(溶接部門)

毎日の練習と企業の技術者様のご指導のお陰で優勝できました。

# 学校給食における地場産物の活用応援事業

## 学校給食で「ふくしま健康応援メニュー」を提供します!

県教育委員会では、毎年6月と11月に、県内の学校給食施設を対象に「学校給食における地場産物の活用状況調査」を実施して、県産品や地域産品といった地場産物の活用率を公表しています。

震災後、平成24年度の調査では地場産物の活用率は18.3%に減少しましたが、近年は学校給食での使用が増え、令和3年度は46.0%となっています。

また、県教育委員会では、学校給食での地場産物の継続的な活用の定着化を目的に、9月から令和5年3月までの毎月19日の食育の日に、「ふくしま健康応援メニュー」を提供しています。今年度は、県内の小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の延べ655施設の学校給食で218,271食を提供します。

### 「ふくしま健康応援メニュー」とは

県内産の野菜が使用でき、減塩に配慮したメニューです。

今年度は、月ごとに決まっている「必ず使用する野菜」をメインとした汁ものを福島県食育応援企業の7社が考えました。

汁ものの野菜ときのご類の総量は60～70g程度、食塩相当量は1g以下です。

### 相馬支援学校の給食の様子(9月)



ピーマンをおいしく食べることができました!

### 9月 ピーマン



ピーマンとベーコンのみそカレースープ  
(味の素株式会社)

### 10月 トマト



トマトと卵の中華スープ  
(カゴメ株式会社)

### 11月 キャベツ



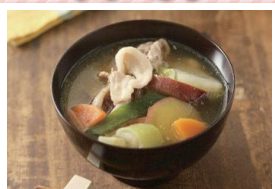
ミネストローネ  
(キッコーマン食品株式会社)

### 12月 大根



大根の豆乳入り呉汁  
(キュービー株式会社)

### 1月ねぎ



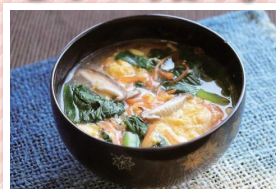
貝だくさん豚汁  
(株式会社にんべん)

### 2月 にら



貝だくさんキムチチヂンスープ  
(理研ビタミン株式会社)

### 3月 ほうれん草



ほうれん草のふわふわ卵スープ  
(中テレックラボ  
(株式会社福島中央テレビ))

ふくしま健康応援メニューの詳細は健康教育課のホームページをご覧ください!

### 相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰など様々なお悩みに対する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月～金 10:00～17:00

「ダイヤルSOS」

0120-453-141

〈子どものための24時間電話相談〉毎日24時間いつでも電話できます。

「ふくしま24時間子どもSOS」

0120-916-024

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは

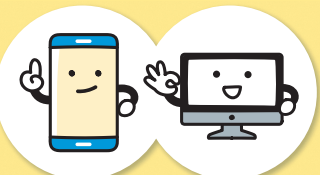
ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

## お申し込み日の翌日からの保障が可能。

※インターネット経由限定。くわしくはホームページをご確認ください。

福島県民共済

検索



手頃な掛金で保障は充実

共済金の迅速なお支払い

県民共済

こども型

お申し込みは0歳～満17歳の健康なお子様

総合保障型・入院保障型

お申し込みは満18歳～満64歳の健康な方

保障内容についてはホームページをご覧ください。

共済取扱団体  
福島県認可

福島県民共済生活協同組合

0120-282-869

【受付時間】平日 9:00～17:00

〒960-8031 福島市栄町6-6 ユニックスビル9F

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報紙へのご意見をお寄せください  
k.kouhou@pref.fukushima.lg.jp